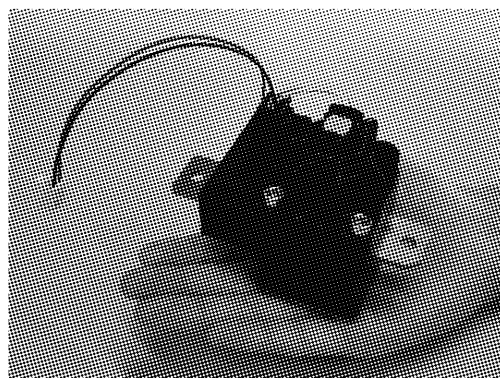


安全装置と一体型 サンコール、電流センサー



サンコールは過電流センサー機能付き電流センサーを瞬時に遮断する安全装置と一体型のトリガ

ー機能付き電流センサーを開発した。電気自動車（EV）など高電

圧機器向けで、過電流による火災防止用として拡大する需要に対応する。20

26年1月6日に米ラスベガスで開催のテクノロジー見本市「CES 2026」に出展。既に引き合いがある欧州やアジア向けを中心にグローバルに売り込む。ラインアップの拡充も進め、30年度までに電流センサー事業の売上高を20億円超に伸ばす。

開発したのは、過電流の発生を20秒（マイクロ）は100万分の1以下の速度で感知し、安全装置に遮断信号を出力するセンサー。新製品はセンサーを安全装置である「パイロスイッチ」と一体化することにより、異常電流検知から遮断までの動作を確実に保証できるようにした。バッテリーの劣化や事故などに起因する火災発生を防ぐ目的で、EVやエネルギー貯蔵装置（ESS）といった高電圧機器向けで需要を見込む。

EVなどでは、パイロスイッチや溶断型ヒューズといった安全装置を機器に搭載するのが一般的。ただ、瞬間的な過電流など異常電流の見逃しや誤検知、検知遅れにより、火災発生が引き起こされるケースがある。このため、異常電流を高速・高精度に検知するセンサーのニーズが高まっているという。

異常電流の検知ニーズは、グローバルで整備が相次ぐデータセンタ向けでも拡大している。同社として初めて出展するCES 2026でアピールすることで幅広い用途での需要開拓につなげる。